

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月18日（木）

2 確認箇所

サイトバンカ建屋（図1）

3 確認項目

第三セシウム吸着装置（SARRY II）の状況

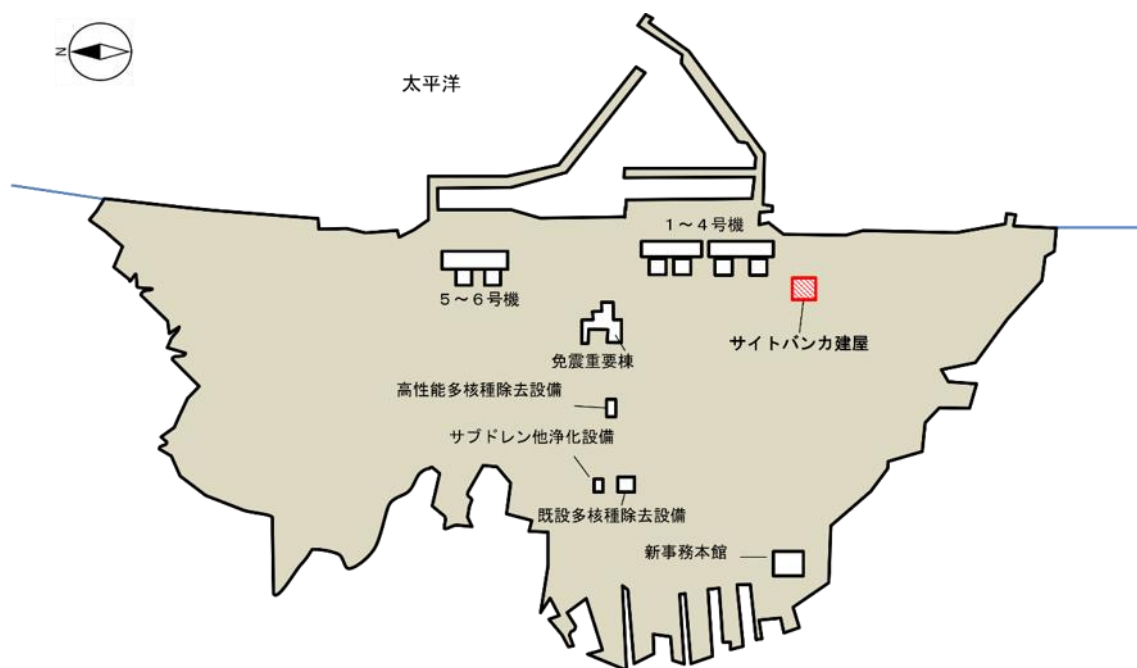
4 確認結果の概要

東京電力では、汚染水に含まれる放射性物質によるリスクを低減するため、複数の設備を用いて放射性物質の濃度を低減する浄化処理を行っている。このうち、セシウム吸着装置は、汚染水に含まれる放射性物質の大部分を占めるセシウムとストロンチウムを重点的に取り除くために使用されている。県では、令和5年10月以降に発生したトラブル事案※を踏まえ、汚染水処理設備の運転状況や設備機器の状況を適宜、確認している。

今回、第三セシウム吸着装置（以下「SARRY II」という。）について、装置の状況等を確認した。（前回確認：令和7年7月25日）

- ・現場確認時において、SARRY IIは運転中であったが、特段、現場作業は行われていなかった。（写真1）
- ・設備の周囲には、漏えい拡大防止対策として、エリアモニタ及び漏えい検知器が設置されていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、配管やバルブからの水の漏えい等の異常は認められなかった。

※令和5年10月以降に発生したトラブル事案：増設ALPS配管洗浄作業における身体汚染（令和5年10月）や高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい（令和6年2月）など4事案が発生したもの。これに対して、東京電力では各事案の原因究明と対策等のほか、発電所における全ての作業に対する作業点検を実施し、その結果を踏まえた改善策の取組を実施している。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1-1)
SARRY II の外観



(写真 1-2)
SARRY II の吸着塔



(写真 2－1)
エリアモニタ



(写真 2－2)
漏えい検知器

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。